2019年度　　授業概要

科目名	リハビリテーション医学							授業の種類	講義	必修・選択	必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期		1年	後期

【授業の目的・ねらい】

リハビリテーション現場で経験する一般的な病気を学ぶ

【実務者経験】

【授業全体の内容の概要】

リハビリテーション現場でよく遭遇する病気についてその原因から治療までを幅広く学ぶ

【授業終了時の達成課題（到達目標）】

リハビリテーションおよび作業療法に関連する疾患を広く理解することができる

回数	講義内容	準備物(教材)
1	オリエンテーション、リハビリテーション医学・医療の概要（成り立ちと発展、理念と障害学、リハビリテーション医療の急性期回復期維持期、介護保険制度）	プリント
2	廃用症候群、老年症候群	プリント
3	運動障害・歩行障害	プリント
4	循環機能障害、呼吸障害、摂食・嚥下障害	プリント
5	排尿障害、褥瘡、痙縮・固縮	プリント
6	高次脳機能障害（失語症、失行症、失認症）	プリント
7	認知症	プリント
8	発達障害	プリント
	定期筆記試験	

【　使用教科書・教材・参考書　】

最新リハビリテーション医学（米本恭三）医歯薬出版

【　準備学習・時間外学習　】

毎回、１疾患または、複数の疾患群を学習するため、進度が速い。そのため、しっかり復習をしておくこと。

【　単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）　】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。
小テストを30点、定期試験を70点として合計100点とする。
60点以上の場合に科目を認定する。